



大学入学共通テストに全力を！コロナ禍で大学個別入試、予断許さず

1月16日、17日に大学入学共通テストが実施されます。3年生はテスト直前の調整をしていると思います。これまでの自分の努力を信じて、共通テストに臨みましょう。

気になるのは、新型コロナウイルスの感染拡大です。1月7日には緊急事態宣言が首都圏に発令される見通しです。1月4日の朝日新聞に気になる記事がありましたので紹介します。



今年の大学入試は、首都圏で緊急事態宣言が出された状況下での実施となりそうです。10日後に迫った大学入学共通テストは予定通り行われる見通しですが、その後の個別試験は予断を許しません。

約53万5千人が志願している共通テストは今年16、17日に第1日程があります。30年続いた大学入試センター試験の後継として初めて行われ、文部科学省幹部は「試験当日まで残り2週間弱。ここで中止したら逆に大パニックになる」と説明しています。

共通テストの成績を合否判定や志願者の絞り込みに使う国公立大などは866校に上ります。共通テストが実施されれば、その後に予定される各大学の個別試験ができなくなっても、筆記試験なしに合否を判定する事態は避けられます。萩生田光一文科相は記者会見で、緊急事態宣言が出た場合でも共通テストは実施する考えを示してきました。

個別試験の中止は先例がある。全国に先駆けて感染が広がった北海道では昨年3月、北海道大をはじめ各国立大が個別試験の後期日程を中止。センター試験の成績で合否を判定する形に切り替えました。

大学の一般入試の最初の関門、大学入学共通テストが目前に迫っています。今すべきこと、本番の注意点は。大学入試に詳しく、過去に大学入試センター試験の出題者を務めたこともある渡辺弘・鹿児島大共通教育センター准教授のアドバイスです。「自己採点は2日目の試験が終わってから、まとめてやりましょう。これには理由があります。センター試験は平均正答率6割を目安に作られていましたが、共通テストは5割程度とされています。1日目に自己採点するとがっかりし、翌日の試験に手がつかなくなるかもしれません。苦戦するのはみんな同じ。自己採点の結果を理由に志望校を下げたり、落ち込んだりする必要はありません」

共通テストへの心がまえ

共通テストの当日の朝は、誰しも不安になったり緊張したりするものです。ここでは、試験に万全の態勢で臨むための準備と注意点を確認します。

当日の注意点については、受験案内や受験票、受験票と一緒に送付される「受験上の注意」にも書かれていますので、しっかり読んでおきましょう。持ち物は早めに準備して、鉛筆等不足がある場合は買い足しておきましょう。忘れ物がないように、前日と当日の朝に確認をするようにしましょう。

黒鉛筆は7～10本程度は用意したいものです。鉛筆削りを使用することが認められていますが、

試験中にその余裕はありません。黒鉛筆のみで試験に臨むことをお勧めします。受験案内によると、「黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合は、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください」とある。マークが薄かったり、一部分しかマークされていないと正しく読み取れないことがあるため、鉛筆での筆記を指定しています。

体調管理はしっかりと

入試の時期は風邪などで体調を崩しやすい時期です。インフルエンザや新型コロナウイルスの感染にも注意が必要です。ワクチン接種やこまめな手洗い、十分な睡眠・食事を取り、日頃の体調管理・感染予防にも気を配りましょう。共通テストの「受験上の注意」にも、試験日の7日程度前から体温測定を行うなど、心がけるべきことが記載されていますので、よく読んでおきましょう。

試験前日、準備が完了したらできるだけ普段どおりの生活をしましょう。緊張して寝つけなくても、暗い部屋で横になって目をつぶっているだけでも体は休まります。

試験当日も緊張を感じたら、まずは深呼吸。鼻から吸って口で吐くと、緊張がほぐれます。温かい飲み物など、気持ちが落ち着くアイテムを用意しておくのもひとつの手です。

緊張しているのはみんな一緒です。今までがんばってきたことを思い返して、自信をもって試験にむかきましょう。

受験前日の過ごし方

試験前日は普段通りの生活を心がけましょう。前日に気合を入れて深夜まで勉強したとしても得られる知識は多くありませんし、何より翌日は朝早いので体調を崩す要因になるだけです。前日の学習は最低限、不安な個所の見直し程度にとどめます。英語であれば英単語、数学であれば計算など、簡単に力をつけられる勉強がいいですね。

生活面では消化の良いものを食べ、できるだけ生ものや脂っぽいものなどは避けましょう。また、持ち物のチェックや当日の天気、移動の交通機関のルート、時刻、会場の場所などの最終確認をしましょう。準備を終えたら、早めに布団に入って就寝します。緊張で眠れなくても、深呼吸をして目を閉じているだけで、就寝時の80%は体力が回復するそうです。安心してくださいね。

試験会場を確認 会場には1時間前の到着を目安に

できれば事前に試験会場の下見をしておきましょう。当日初めて試験会場に向かうのでは、予想以上に時間がかかったり、受験する教室が分からず迷って遅刻ということにもなりかねません。下見ができない場合には、電車の時刻や所要時間、会場までの道のりを事前に確認しておきましょう。共通テストは土・日に実施されるため、交通機関の運行ダイヤが平日と異なる場合があります。下見をする際にもこの点に注意が必要です。

また、当日に雪が降るなど気象による交通機関への影響も考慮し、リスクの少ない経路を選びましょう。前日から気象・交通情報はチェックしておきましょう。

当日は交通機関の遅延なども考慮して、1時間前には試験会場に着くよう余裕をもって家を出発しましょう。早く着くことで、試験場の雰囲気にも慣れ、心に余裕がうまれます。万が一、電車が事故や雪で遅れるなど不測の事態があった場合、試験時刻を繰り下げることがあります。慌てずに試験会場に向かうことが大切です。

寝坊などによる遅刻で、試験開始時刻に間に合わなかった場合も、試験開始時刻後20分以内であれば受験が認められます（英語リスニングは試験開始時刻まで）。